



SKK
SUPERIOR
COATINGS

SK MASTIC C

エスケーマスチックC

コンクリート壁面厚膜仕上げマスチック塗材ローラー工法（都市再生機構適合品）

ホルムアルデヒド
放散等級
F★★★★

塗材ローラー工法とは、壁面及び天井面の仕上工法で、優れたローラー塗り適性と厚付け適性を持つ独特の塗材を使用します。多孔質ハンドローラーを用いて1段塗りで厚付けができ、材料の飛散を防止する低公害型の仕上工法として開発されたものです。

エスケーマスチックCは都市再生機構が規定する有機質系の外装用マスチック塗材Cに該当します。

特長

厚塗り層を一段塗りで塗付することができます。

吹付工法に比べ養生を軽減でき、塗材の飛散も少なく、作業環境や周辺環境の汚染防止に役立ちます。

下地への密着性、耐水性、耐アルカリ性、耐洗浄性に優れています。

耐久性が高く、長期に亘り、美観を維持します。

ローラー作業性に優れています。

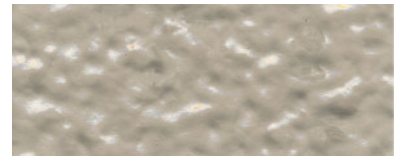
適用下地

コンクリート、セメントモルタル、スレート板 など

塗材の種別・用途・組成・性能

| 塗材の種類 | マスチック塗材C |
|-------------|--|
| 塗材の工法種別 | CE |
| 略号 | MR-CE |
| 主な用途区分 | 内外部用 |
| 主な適用箇所 | 内外壁・浴室・台所 |
| 主材の主成分 | 水硬性ポルトランドセメント 合成樹脂エマルジョン |
| 上塗り材の種類 | 上塗り有 (JIS K 5660艶有り合成樹脂 エマルジョンペイント) |
| 防火認定 | ○ |
| 性能特長 | 耐候性・耐水性 耐アルカリ性・防火性 耐汚染性・耐洗浄性 付着性・耐湿性 |
| 仕上がりのテクスチャー | 丸みのある山立ちの「さざ波状」 で、模様はやや大きい。光沢がある ので汚れが付きにくく、骨材粒子 が表面に露出しない陶磁器質 タイル状のデラックスな仕上がりとなる。 |

マスチック CE (MR-CE)



(艶有り)

荷姿

| | |
|-------------------|---|
| エスケーマスチック C 主材 | 20kg 袋 (標準塗坪：14～16 m ² /セット) |
| エスケーマスチック C 混和液 | 8kg 石油缶 |
| エスケープイント | 18kg 石油缶 (標準塗坪：69～90 m ² /缶) |
| エスケーマスチックカラーシーラー | 20kg 石油缶 (標準塗坪：106～160 m ² /缶) |
| エスケーマスチック C 用シーラー | 16kg 石油缶 (標準塗坪：106～160 m ² /缶) |

上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

《危険情報と安全対策》

製品の取り扱い、それぞれの製品安全データシート(MSDS)に従ってください。ご使用の際には、安全管理に注意して作業を行ってください。

標準施工仕様

凹凸模様仕上げ(新築仕様)

(20、65%RH)

| 材料種別 | 工法種別 | 工程 | 使用材料 | 希釈剤 希釈率% | 所要量 (kg/m ²) | 塗付け量 (kg/m ²) | 放置時間 (hr) | |
|------|------|-----------------------|-----------------|------------------|-----------------------------|------------------------------|--------------|-----|
| C | CE | 1. 下地押さえ | エスケーマスチックC用シーラー | 水 0 | 0.12～0.15 | 0.12 | 3以上 | |
| | | 2. 主材塗り | エスケーマスチックC | 主材 100 混和液 40 | 1.8～2.0 | 1.8 | 16以上 | |
| | | 3. 仕上材塗り (エマルジョン形) | 1回目 | エスケープイント | 水 0～10 | 0.10～0.13 | 0.10 | 5以上 |
| | | | 2回目 | エスケープイント | 水 0～10 | 0.10～0.13 | 0.10 | — |

注) 都市再生機構保全工事など改修工事の場合は仕様異なります。詳しくは最寄りの各営業所にお問い合わせください。

1. エスケーマスチックカラーシーラーを用いた仕様は、特記仕様となります。
2. 押出成形セメント板、GRC板、PC部材などへの施工については、別途ご相談ください。
3. 「標準塗付け量」は、被塗装面に付着させる塗材の量を示します。また、「所要量」は塗装ロス等を考慮した塗材の使用量を示し、塗装条件などにより異なります。各材料の使用数量などを算出する際には「所要量」を基準としてください。
4. 防火認定仕様、公共建築工事標準仕様(新築・改修)につきましては最寄りの各営業所にお問い合わせください。

施工上の注意点

1. 天候に注意し、次の場合は作業を中止してください。
気温 5 以下、湿度 85%以上の場合
下地の乾燥が不十分(含水率 10%以上)な場合
降雨、降雪、強風、あるいはこれらが予想される場合
2. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、使用前に電動ミキサー等で十分に攪拌してください。
3. 塗装方法は、多孔質ハンドローラーを用い、まず素地へ配り塗りを行い、続いてならし塗りの後、ローラー転圧(下から上)により一回塗り工程で仕上げてください(一段塗り)。
4. 塗り幅は 80cm 前後を標準とし、塗り継ぎ部が目立たないように、むらなく塗付してください。
5. 万パターンが不均一になった場合は、同一作業時間内に追いかけて塗りを行い、むら直しを行って調整してください。
6. 塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
7. 改装工事に溶剤形の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異常が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
8. ヤニ・アクが付着している場合は、中性洗剤などで拭き取った後、あらかじめSK水性ヤニ止めシーラー(15kg 石油缶)を塗付してください。
9. かび、藻が付着している場合は、「SKK カビ除去剤 # 5 (塩素系)」にて拭き取ってください。
10. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
11. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
12. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、若干の色相差を感じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
13. 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がり肌の違いによる若干の色相差を生じることがあります。
14. 濃色や原色に近い色彩は、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部位への施工は避けてください。
15. 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
16. 最終養生の時間内に、降雨、結露などあれば、塗膜の膨れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。なお、しみが発生した場合は、乾燥後に水拭きなどで除去してください。
17. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防

18. 止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。
19. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。仕上げ用パテが防かび剤を含有する場合、塗膜に支障をきたす可能性がありますので、試験塗りをを行い、十分に確認した上で本施工に入ってください。
20. このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

(1203.H-1)